

平成31年度全国学力・学習状況調査結果のポイント(小学校)

国語

大分県(公立)	67
全国(公立)	64

※平均正答率

	国語が好き	国語が分かる
大分県(公立)	85.6%	83.2%
全国(公立)	84.9%	83.5%

結果概況

- ・全ての領域で全国の正答率を上回っている。また、設問ごとの結果についても、全ての設問で全国の正答率を上回っており、学習内容の定着がおおむね図られている。
- ・「国語が好き」と回答した生徒の割合は、全国の割合よりも高い。

課題が見られた問題と学習指導のポイント

【課題】目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くことができる。

(大問1 設問三:大分県30.6%・全国28.8%)

- 自分の考えが相手に伝わるように書くためには、事実と考えとを区別して書いたり、理由を明確にして自分の考えをまとめたりすることが大切である。

学習過程

学習活動1 新聞で一番伝えたいことは何かを話し合い、学習課題を設定する

学習課題 交流する楽しさがみんなに伝わる新聞を作ろう

学習活動2 学習課題に基づき、紙面の割り付けを行うとともに、見出しを決め、記事を書く

学習活動3 完成した記事を読み合って、交流する楽しさが伝わるかどうかを相互評価する

交流会について取材して、学校新聞を書く

H27年 授業アイデア例B2(1)

算数

大分県(公立)	67
全国(公立)	67

※平均正答率

	算数が好き	算数が分かる
大分県(公立)	66.2%	67.4%
全国(公立)	64.2%	68.6%

結果概況

- ・領域「数と計算」「図形」の正答率が全国平均を上回った。
- ・領域「量と測定」「数量関係」の正答率が全国平均を下回った。
- ・「算数が好き」と回答した生徒の割合は、全国の割合よりも高い。

課題が見られた問題と学習指導のポイント

【課題】減法の場合を基に、除法の計算に関して成り立つ性質を見だし、その理由を書く。

(大問3(2):大分県33.1%・全国31.1%)

- 指導に当たっては、商が同じになる幾つかの除法の式を基に、除法に関して成り立つ性質を見出す活動が考えられる。その際、被除数と除数や、商について、適用する数の範囲を広げながら、見いだしたことがほかの数値の場合でも成り立つかどうかを確認することができるようにすることが大切である。

関連のある問題

(2) $2.1 \div 0.7$ を、「わられる数とわる数に同じ数をかけても商は変わらない」というわり算の性質を使って、次のように計算します。

$$\begin{array}{r} 2.1 \div 0.7 = \text{㊦} \\ \downarrow 10 \text{ をかける} \quad \downarrow 10 \text{ をかける} \\ \text{㊦} \div 7 = \text{㊧} \end{array}$$

上の㊦、㊧、㊨に入る数を書きましょう。

H28A1(2) 全国正答率68.7%

●関連のある問題の扱い

→H28年A1(2)で、 $2.1 \div 0.7$ の計算を例に、除数及び被除数に同じ数をかけて、(小数)÷(小数)を(整数)÷(整数)に置き換えても、商は変わらないことを理解しているかどうかをみる問題が出題された。この問題では、 $21 \div 7$ の商と $210 \div 70$ の商が同じになることから、除法の性質が成り立つことを確かめた上で、 $2.1 \div 0.7$ の商は $21 \div 7$ の商と同じになることを確認する場を設けることが大切である。この問題を確認後、H31年3(2)の問題を扱い、計算に関して成り立つ性質を見だし、表現できるようにさせたい。

平成31年度全国学力・学習状況調査結果のポイント(中学校)

国語

	国語
大分県(公立)	77
全国(公立)	76

	国語が好き	国語が分かる
大分県(公立)	60.4%	75.3%
全国(公立)	61.7%	77.6%

結果概況

※平均正答率

- ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」領域では、全国の前年を上回った。
- ・「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の正答率は全国の前年と比べ1.4p低い。
- ・「国語が好き・分かる」と回答した生徒の割合は、全国の前年よりも低い。

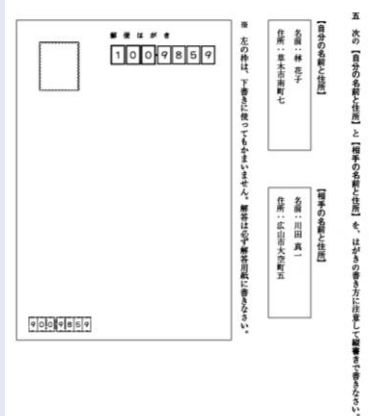
課題が見られた問題と学習指導のポイント

【課題】手紙の基本的な形式を理解し、文字の大きさや配列

に注意して書く。(大問4:大分県55.1%・全国56.8%)

→手紙の基本的な形式に基づき、文字の大きさや配列に注意

して書くよう指導することは、社会生活に役立つ書写の能力を育むために重要。表書きに宛て名や住所を正しく書くことや後付けにおける署名と宛て名の位置関係といった形式の理解が必要である。



※過去問等の活用
H24の際にも名前と住所の位置を逆に書く誤答が見られた。

数学

	数学
大分県(公立)	61
全国(公立)	60

※平均正答率

結果概況

- ・「数と式」「関数」「資料の活用」の領域の正答率は全国平均を上回った。「図形」領域の正答率は全国平均を下回った。
- ・「数学が分かる」と回答した生徒が初めて70%を超えた。

【生徒質問紙】数学の授業はよく分かりますか。



課題が見られた問題と学習指導のポイント

【課題】冷蔵庫Bと冷蔵庫Cの総費用が等しくなる使用年数を、それぞれの冷蔵庫の使用年数と総費用の関係を表す式またはグラフのどちらかを選び、求める方法を説明する。(大問6:大分県38.6%・全国34.7%)

→様々な問題を数学を活用して解決できるようにするために、問題解決の方法や手順を説明する場面を設定し、表、式、グラフなどの、「用いるもの」とその「用い方」について明らかにすることができるように指導することが大切である。

英語

	英語
大分県(公立)	55
全国(公立)	56

※平均正答率

	英語が好き	英語が分かる
大分県(公立)	55.7%	62.9%
全国(公立)	56.0%	66.0%

結果概況

- ・全ての領域において正答率が全国平均を下回った。
- ・記述式問題における無解答率が高い。
- ・「英語が好き・分かる」と回答した生徒の割合は、全国の前年よりも低い。

課題が見られた問題と学習指導のポイント

【課題】聞かれたことに対する応答など、場面や状況に応じて英語を書くこと。

(4:無解答率大分県47.7%・全国42.3%)

・与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くこと。(10:大分県1.7%・全国1.8%)

→○目的・場面・状況に応じて、実際に英語を使って伝え合う言語活動を設定する。

○「聞いたり」「読んだり」して得た情報等を、「話したり」「書いたり」して伝えたり、「話して書いたり」「読んで書いたり」する領域を統合した指導を行う。